

令和元年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
推進校視察報告書

1. 視察日時

令和元年 11 月 21 日 (木) 8:45 ~ 9:35

2. 学校 (推進校) 名

久留米市立青陵中学校

(〒830-0053 福岡県久留米市藤山町 1731 番地 10)

3. 対象

中学 3 年生 31 名

4. 実施場所

青陵中学校 3 年 3 組教室

5. テーマ

体育理論「国際的なスポーツ大会とその役割」

6. 実施目的

スポーツには様々な国際大会があり、それらは、国際親善や世界平和などに大きな役割を果たしていることを理解し、東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方を考えることができる。

7. 実践内容

① 導入【5分】

- ・オリンピック・パラリンピックと聞いて、連想する言葉を考え意見交換をする
- ・本時のめあての確認をする

② 展開【35分】

- ・オリンピック・パラリンピックのダイジェスト VTR を見る
- ・ロールプレイング活動をする

③ まとめ【10分】

- ・本時の振り返りをする

8. 内容詳細

- 導入として、「オリンピック・パラリンピックと聞いて連想する言葉は何か」を発問がなされた。生徒からは、「ピエール・ド・クーベルタン」「平和」「ラグビー」などのキーワードが挙げられた。その後、本時のめあて「オリンピック・パラリンピックの魅力を考えよう。」が確認された。
- オリンピック・パラリンピックのダイジェスト VTR を視聴することで、オリンピック・パラリンピックの具体的な場面を想起させた。オリンピック・パラリンピックに関わる人々の想いに迫るために、VTR からピックアップされた9つの場面の登場人物のその瞬間の気持ちを考えさせた。考えた内容をグループで話し合った後、発表された。
- VTR からピックアップされた9つの場面を活用して、登場人物になりきってインタビューに答えるロールプレイング活動が行われた。ピックアップされた場面の登場人物には、選手のみならず大会ボランティアや家族、カメラマンなどがおり、様々な立場からオリンピック・パラリンピックにどんな想いで参加したかについて考える内容となっていた。
- 本時の振り返りでは、オリンピック・パラリンピックに魅力として「参加する人々が違う思いを持って参加しているところ」「関係者が一体になれる」「選手も観客も熱い気持ちになれる」「国、性別、環境や境遇が違っても平等に活躍できる場所」などという意見が挙げられた。オリンピック・パラリンピックのためには何ができるかという問いかけに対しては「英語を喋れるようになる」「関心を持つ」など、まずはできることから関わっていこうとする意欲が見られた。

推進校視察
(福岡県)



写真 1. 導入の様子



写真 2. VTR 視聴の様子



写真 3. グループワークの様子①



写真 4. グループワークの様子②

推進校視察
(福岡県)



写真5. グループワークの様子③



写真6. ロールプレイングの様子

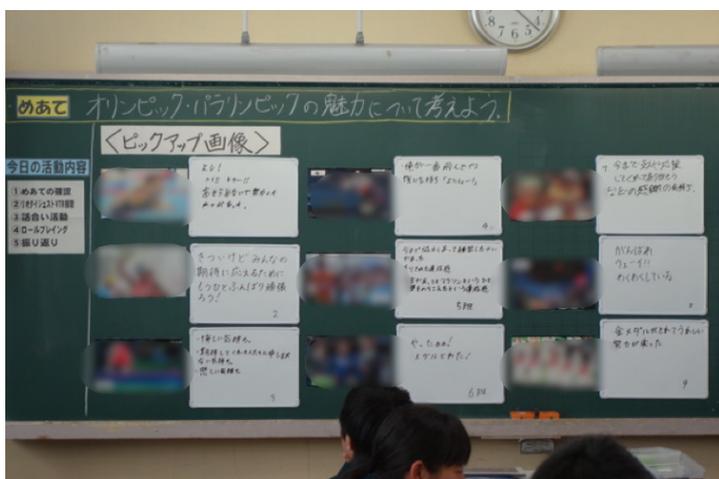


写真7. 板書①



写真8. 板書②